

第 2125 回 2019 年 9 月 26 日例会報告

点 鐘

斉 唱 ロータリーソング『それでこそロータリー』

握手タイム

会長挨拶 大澤会長

今年から（今年だけ？）新しいスタイルでのクラブ協議会となります。例会終了後、千田ガバナー補佐立会いのもと、クラブ協議会を行います。皆さんのご協力をお願い致します。本日はロータリー奉仕活動の歴史の 1 つをご紹介します。

RC としての奉仕活動の始まりは、日本でもよく紹介されている公衆トイレの設置運動でした。1907 年、シカゴ市の中心部に公衆トイレがないため通行人が不便な思いをしているとの話を聞いたポール・ハリスは、それに対応する事がロータリー会員の市民意識を向上させる絶好の機会になると考えました（これが奉仕活動始まりの動機です）。クラブではすぐさま、25 の市民団体を集め公衆トイレ建設連合委員会を立ち上げ、シカゴ市当局に対し設置運動を開始しました。しかしこれに猛反発したのが、この地域の既成権益を守ろうとするシカゴ百貨店組合と醸造組合で、当時のシカゴ市中心部でトイレを使用するには、百貨店に入るか、バー（立ち飲みビール店）に立ち寄るしかありませんでしたから、無料トイレが出来れば百貨店やバーに入る客が減って、それらの店の収入減になると予測したからです。

行政との交渉が長引き、工事開始まで 2 年の歳月を要しましたが、ついに 1909 年、市から建設費用の捻出に成功し、市庁舎と市立図書館の横に 2 か所の公衆トイレが設置されました。

これは初期ロータリーの社会活動の中で、世界のロータリアンが誇りにするべき出来事ですが、これを“社会奉仕”の始まりとするのは疑問です。誰もがご理解出来るように、この公衆トイレは市の予算で、市の所有地に建設されたもので、ロータリアンの寄付による慈善事業ではありませんでした。しかし最も基本的なことは、この当時のロータリーにはまだ“奉仕”という理念が生まれていなかったことで、もちろん 1927 年になって登場する“社会奉仕”という概念はこの時点では存在していませんでしたが、ロータリーが社会活動に眼を向け始めた原点・出発点であるにご理解頂ければ幸いです。

来月はこの続きからご紹介します。

ビジター紹介 親睦委員会 神林委員

国際ロータリー第 2560 地区

第 2 分区 ガバナー補佐 千田芳資君

親睦委員会 高木委員長

10 月 31 日の月見例会（一泊）について

ロータリー財団委員会 稲葉委員長

田村修君より \$100 いただきました。

ニコニコ BOX 紹介 谷合委員

千田芳資君 本日はクラブ協議会よろしくお願ひ致します。

大澤 力君 千田ガバナー補佐ようこそ。本日はクラブ協議会よろしくお願ひします。

ニコニコ BOX 総計 105,000 円

幹事報告 森田幹事

例会終了後に「白鳥の間」においてクラブ協議会を開催します。

卓話

『ロータリー研修卓話』

大澤 力 会長

片野 勉 研修リーダー

第 2125 回 9 月 26 日 例会報告

9/26	会員数	出席者数	欠席者数	出席率
	39 (37) 名	27 名	10 名	72.97 %
9/12	メイクアップを含む出席者	メイクアップ後欠席者数	メイクアップ後出席率	月出席率
	30 名	6 名	83.33 %	